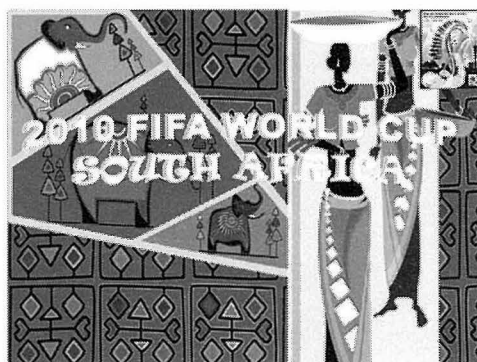


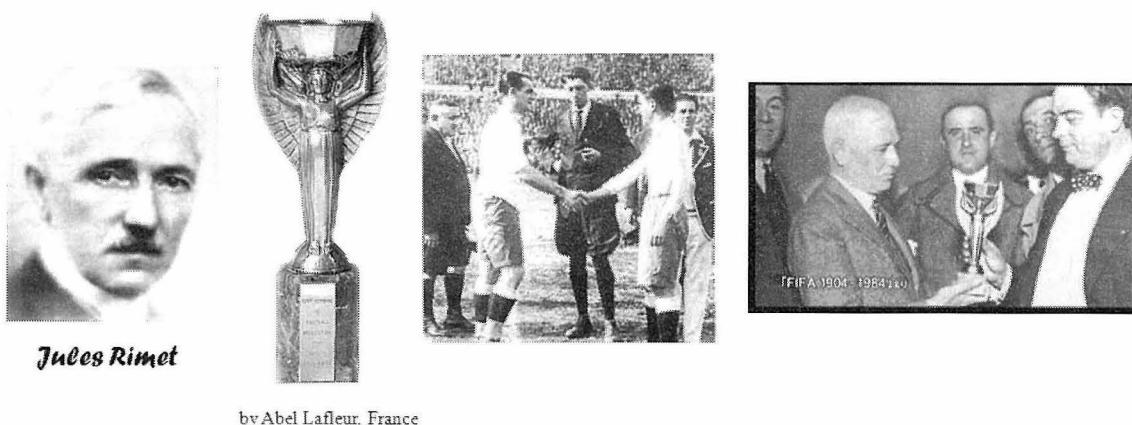
第7回 健康・スポーツ科学セミナー
河端隆志

「ちょびっと 2010 ワールドカップサッカーを愉しもう」
—日本を取り巻くカメルーン、デンマーク、オランダ—



2010年は、4年に一度のサッカー・ワールドカップが南アフリカで開催されます。アフリカ大陸での開催ははじめてのことです。日本も、ここ数年連続して本大会に出場できるようになりました。今回は、4位以内という目標を岡田監督は掲げています。日本が入る予選グループには、オランダ、デンマーク、そしてカメルーンがそれぞれ入りました。今回は、少し目先を変えて、まずサッカーについての基礎知識、そしてオランダ、デンマーク、カメルーンという国のサッカーについて紹介しましょう。

ワールドカップの歴史



1924年パリで行なわれたオリンピック・サッカー競技で、並み居る欧州の強豪を退け、決勝戦に勝ち進んだのはアルゼンチンとウルグアイでした。当時世界最強を誇っていた両国による欧州制圧を目の当たりにしたFIFA会長ジュール・リメは、「欧州と南米、一

体どちらが強いんだ・・・」と素朴な疑問に駆られていたのです。それを明確にするべく、ジュール・リメは各国政府に打診して、ワールドカップの開催案を持ち掛けました。そうして、今日世界で最も愛されるスポーツの祭典、ワールドカップが実現する運びとなったのです。そうした背景があり、パリ・オリンピックから6年後、ウルグアイ建国100周年を記念して、国歌プロジェクトの一環で第1回のワールドカップが開催されています。国際チームの滞在費用を全額負担するという申し出から、リメ氏はヨーロッパ各国の反対を押し切って、ウルグアイでの開催に漕ぎ付けたのです。ところが、遙か海の向こうにある、南米大陸への渡航を苦慮したヨーロッパの国々は、このワールドカップへの参加を拒否。結局、ヨーロッパから参加したのは、リメの母国フランスを始め、ユーゴスラビア、ルーマニア、ベルギーのわずか4カ国に止まりまし。栄えある第1回ワールドカップ優勝国はウルグアイでした。

過去の優勝国と開催大陸

これまでの開催国と優勝国

優勝国は8カ国

開催国	優勝国	準優勝国	出場国	試合数	無得点試合	得点数	試合平均	開催都市
1930 	 2-3-5	 2-3-5	13	18	0	70	3.88	1
1934 	 2-3-5	 2-3-5	16	17(1)	0	66	3.88	8
1938 	 2-3-5	 2-3-5	16	19(3)	0	84	4.42	9
1950 	 2-3-5	 2-3-5	13	22	0	91	4.13	6
1954 	 2-3-5	 2-3-5	16	24	0	126	5.25	6
1958 	 3-2-5	 3-3-4	16	32	2	120	3.75	12
1962 	 4-2-4	 4-3-3	16	32	4	88	2.75	4
1966 	 4-4-2	 4-3-3	16	32	3	86	2.68	7
1970 	 4-2-4	 4-4-2	16	32	3	89	2.78	5
1974 	 3-5-2	 4-5-1	16	38	5	97	2.55	9
1978 	 4-3-3	 4-5-1	16	38	6	102	2.68	6
1982 	 4-4-2	 4-3-3	24	52	7	146	2.80	14
1986 	 4-4-2	 4-4-2	24	52	4	131	2.51	9
1990 	 3-5-2	 4-4-2	24	52	5	115	2.21	12
1994 	 4-4-2	 4-4-2	24	52	3	141	2.71	9
1998 	 4-5-1	 4-4-2	32	64	4	171	2.67	10
2002  	 3-5-2	 3-5-2	32	64	3	161	2.51	20
2006 	 4-5-1	 4-5-1	32	64	7	147	2.30	12
2010 	?	?	32	64				9

過去の18回のワールドカップの優勝国と開催されている大陸に着目してみると、優勝国は開催大陸から出ています。例外はというと、1958年のスウェーデン大会、1994年のアメリカ大会そして2002年の日本・韓国大会で、いずれもブラジルが優勝していました。ま

た、優勝国は 18 大会で 7 カ国です。また、気付かれた方はお解りでしょうが、ワールドカップは国単位の開催です。オリンピックのような 1 都市開催との違いから、その開催規模が伺えるでしょう。

F I F A加盟国と本大会出場国

FIFA加盟国と本選出場国



North, Central America and Caribbean
35 teams, 3.5 places

Europe
53 teams, 13 places

Asia
43 teams, 4.5 places

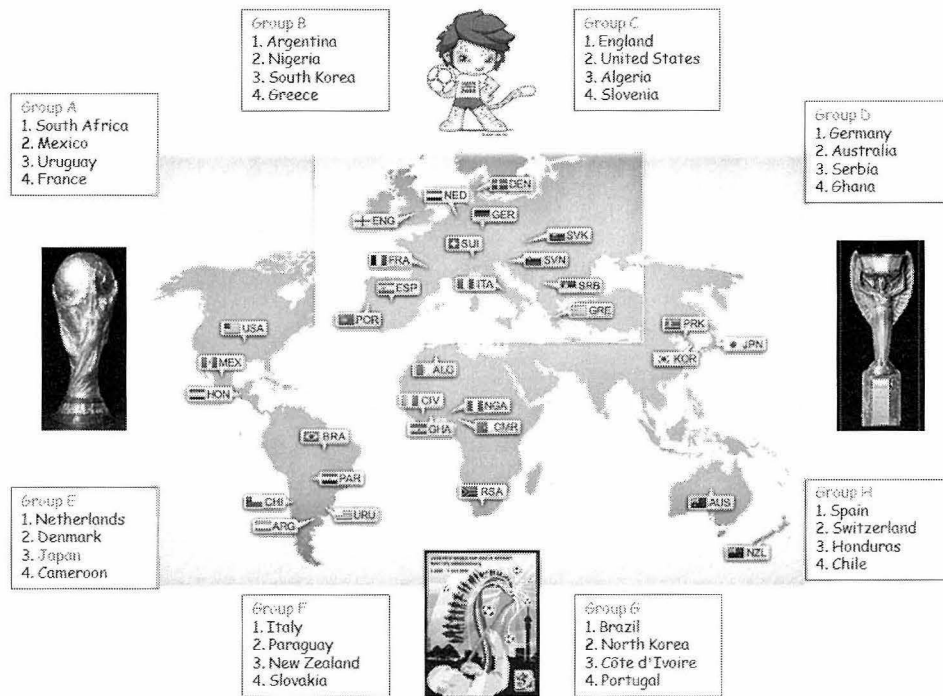
South America
10 teams, 4.5 places

Africa
53 teams, 5 places

10 teams, 0.5 places Stage1

現在の国際サッカー連盟；F I F A 加盟国数は 204 ヶ国で本大会出場は 32 カ国（開催国＋予選通過国）です。本大会への出場はとても狭き門です。

2011 南アフリカ大会への参加国は以下のようになりました。



日本はグループEに入りました。

オランダ・カメルーン・デンマークの紹介

Netherlands	
人口	1545万人
面積	40844 km ²
首都	Amsterdam
サッカー協会創立	1869
FIFA加盟	1904
登録クラブ	3656
登録選手	1745860人



グループEの顔ぶれ

Japan	
人口	1億2496万人
面積	377801km ²
首都	Tokyo
サッカー協会創立	1921
FIFA加盟	1929
登録クラブ	28484
登録選手	838554人



Cameron	
人口	1356万人
面積	475442km ²
首都	Yaounde
サッカー協会創立	1959
FIFA加盟	1962
登録クラブ	220
登録選手	785515人




Denmark	
人口	523万人
面積	43069km ²
首都	Copenhagen
サッカー協会創立	1889
FIFA加盟	1904
登録クラブ	1815
登録選手	511333人



オランダは1970年代から頭角を現してきたヨーロッパ屈指の強豪国です。常にモダン・フットボールを追及し、現在の世界のクラブ・チームの育成組織の原型を築いたのは、オランダの名門クラブ、アヤックス・アムステルダムです。今回の優勝候補といえるでし

よう。カメルーンは躍進するアフリカ諸国の強豪であり、多くの選手がヨーロッパの強豪チームでプレーしています。今回のアフリカ大陸での初めてのワールドカップだって、油断の出来ない国です。デンマークはヨーロッパでは古豪の国です。決して、傑出したクラブがあるわけではありませんが、オーソドックスにフットボールを展開してきます。国内リーグは、フルタイムのプロ・クラブはFCコペンハーゲンとFCブロンビューという2クラブで、他のクラブはパートタイム・プロの選手によるものです。この形は、今後の日本のクラブのあり方として参考にすべきものでしょう。

どの国も強豪ぞろいであり、普通に勝てる相手ではありません。どのような戦い方が展開されるのか楽しみです。

2011 FIFA World Cup South Africa の特徴

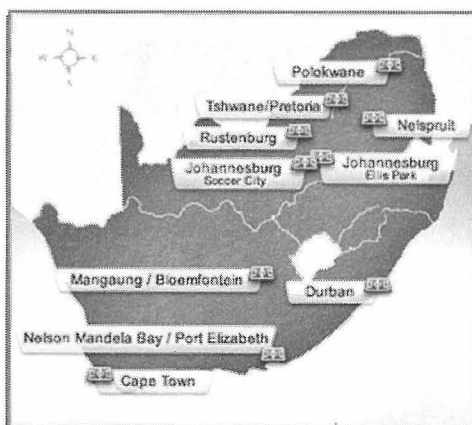
今大会の特徴は、なんといってもアフリカ大陸で行われる最初の大会であるということです。国際サッカー連盟のミッションである最後の仕事となりました。そして、もうひとつの特徴は、図にも示したように試合会場が高所にあるということです。登山をされる方はお分かりだと思いますが、高所での運動は低酸素の影響でとても困難になります。このことが、各国の仕事の一つ増やしたことになると思います。ワールドカップは1カ月に及ぶ長い大会です（オリンピックは2週間）。1次予選の3試合が終了した時点でのコンディショニングが決勝トーナメントに大きく影響するでしょう。

今回の大会の特徴

スタジアム	標高差 (m)
ポロクワネ	1310
ルステンブルク	1560
ヨハネスブルク	1753
プレトリア	1214
ネルスプロイト	660
ブルームフォンテン	1400
ダーバン	0
ポートエリザベート	0
ケープタウン	0

伊吹山 1377

6・14 カメルーン	ブルームフォンテン
6・19 オランダ	ダーバン
6・24 デンマーク	ルステンブルク
決勝トーナメント1回戦	
6・28 F組2位	E組1位 ダーバン
6・29 F組1位	E組2位 プレトリア



最後に

またまた、寝不足の日々が続きそうです。